

りそな 経済フラッシュ

(米国7月雇用統計)

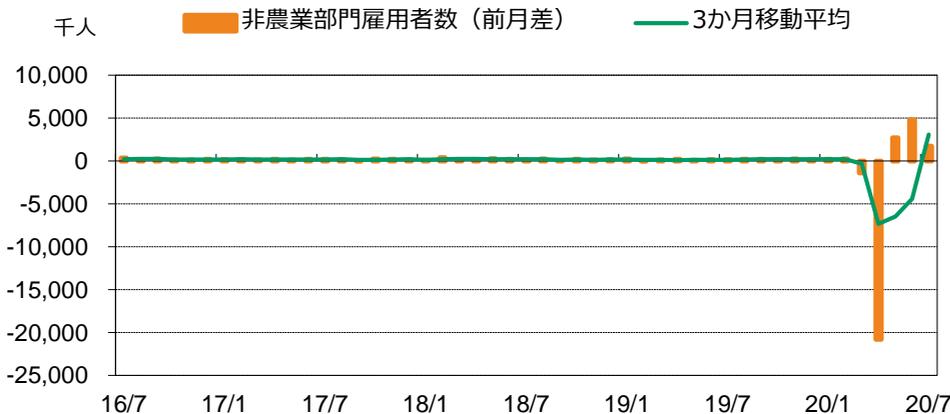


- ◆ 7月の非農業部門雇用者数（事業所調査）は前月差+176万人と市場予想（+148万人）を上回り、7日の米株高の一因となった。
- ◆ 雇用者数の内訳としては、製造業の増加が鈍化するも、教育・医療や娯楽、小売などを中心としたサービス業や政府部門がけん引した。ただし、政府部門では、地方政府の教育サービスで通常7月にレイオフが行われるが、コロナ禍により通常より早くレイオフが行われたことによる特殊要因が押し上げた。
- ◆ 家計調査による失業率も10.2%と市場予想10.6%を下回り、3か月連続で改善した。
- ◆ 労働参加率は、61.4%と前月（61.5%）からやや下回り、市場予想（61.8%）も下回った。非労働力人口が3か月ぶりに増加に転じたことが要因。
- ◆ 雇用指標は4月をボトムに回復基調とあるものの、小売売上高や鉱工業生産などと比べると、回復のペースが遅い。非労働力人口の増加や長期の失業者の増加、週次の失業保険継続受給者数の高止まりなど不透明感も強く、労働市場の先行きについて現時点で楽観視はできない。

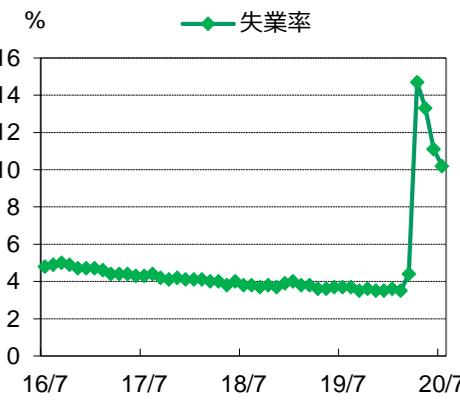
【非農業部門雇用者 主要業種(前月差)】

前月差、万人	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7
建設	▲ 6.5	▲ 101.8	45.6	16.3	2.0
耐久財製造	▲ 2.7	▲ 90.5	14.3	29.0	1.5
非耐久財製造	▲ 1.9	▲ 41.2	9.7	6.7	1.1
製造業小計	▲ 4.6	▲ 131.7	24.0	35.7	2.6
教育・医療	▲ 17.8	▲ 260.3	38.8	56.7	21.5
金融	▲ 1.8	▲ 26.1	1.9	2.3	2.1
娯楽	▲ 74.3	▲ 757.5	140.5	198.1	59.2
専門サービス	▲ 9.4	▲ 220.2	16.0	31.8	17.0
うち人材派遣	▲ 5.1	▲ 84.1	4.7	14.4	14.4
卸売	▲ 1.2	▲ 38.5	2.3	6.3	▲ 0.5
小売	▲ 8.5	▲ 229.9	38.6	82.7	25.8
運輸	▲ 1.0	▲ 56.0	▲ 2.5	8.7	3.8
サービス業小計	▲ 123.7	▲ 1,744.7	256.0	422.2	142.3
民間部門計	▲ 135.6	▲ 1,983.5	323.6	473.7	146.2
政府部門	▲ 1.7	▲ 95.2	▲ 51.1	5.4	30.1
非農業雇用者	▲ 137.3	▲ 2,078.7	272.5	479.1	176.3

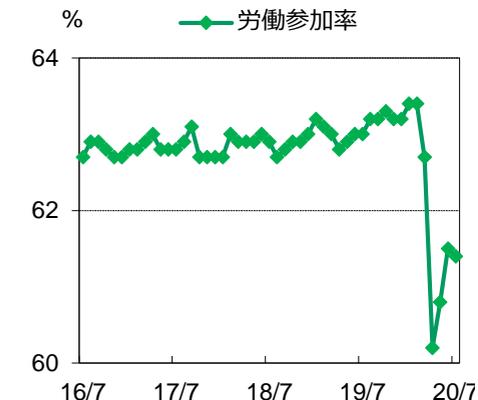
【非農業部門雇用者数（前月差）の推移】



【失業率】



【労働参加率】



【出所】米労働省、Haver Analytics, Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。